

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成24年度事業)

事業の概要			根拠法令・例規等
事業開始年度	平成17年度		
総合計画	大項目	03 地域文化と人が輝くまちづくり	問 担当課(室) 教育委員会スポーツ振興室 合 職・氏名 室長代理 畑下昌代 先 電 話 63-3813 このシート作成に要した時間 2.0 時間
	中項目	02 生きがいのあるまちづくり	
	小項目	06 スポーツ・レクリエーション	
事務事業名		01 海洋スポーツ普及事業	

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	小学生以上の海洋スポーツに興味のある人・海洋スポーツを積極的に取り組むため入会した海洋クラブ員
目的 (何のために)	海洋スポーツの普及に取り組むことによりスポーツ振興を図る。海洋スポーツをとおして青少年の健全育成を図る。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	海洋スポーツ教室、海洋スポーツ大会(県大会・中国大会)出場に向けて訓練、また、海洋スポーツ普及大会の開催により、海洋スポーツの普及と推進を図る。

Plan

事業の意図する成果となる成果指標を設定  
事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			優先度
細事業名	事業の説明		
B & G海洋センター総務事業	海洋センター連絡協議会関係事務・海洋クラブ奨励金(奨励金の交付・クラブ員育成等)		
海洋スポーツ普及事業	艇庫開き・海洋スポーツ普及大会		
目的を達成するために実施した事業			

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果					
成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
艇庫開きを開催し海洋クラブ員を募り、海洋スポーツ普及大会を開催することで海洋スポーツの振興を図る。	目標値(A)	150	150	150	150
	実績値(B)	59	98	89	到達目標値
	達成率(B/A)	39.33%	65.33%	59.33%	150
成果指標設定の考え方・式や説明					
艇庫開きと海洋スポーツ普及大会への参加人数 目標値は両事業ができた場合の人数					

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性の必要性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある		妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い		
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B

事業の目的やその数値目標  
である成果指標に留意しな

進行年度(H25年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	B & G海洋センターの管理・運営は指定管理者制度導入で実施しているが、海洋スポーツの普及に関すること、海洋クラブ員の育成は市と協力して行い、平成25年度には、アドバンストインストラクターの養成研修を受けた指導員が1人増える予定であり、今後もより一層指導者会の協力をいただき、市民が海洋スポーツを身近なスポーツと感じるよう、イベントの開催等努めていく必要がある。					

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
決算額	事業費	千円	115	122	154
	必要人員	人	0.05人	0.12人	0.09人
	事業費	千円	420	1,097	883
財源	国庫支出金				
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他( )				
	一般財源		535	1,219	1,037
	受益者負担比率	%	-	-	-
結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	結果指標量	説明	海洋スポーツ開始のための艇庫開き・海洋スポーツ普及大会の開催		
	対前年比	%	59	98	89
	活動コスト	円	-	166.1%	90.8%
	単位当たりコスト	円	0	0	0

総合評価	
海洋スポーツは青少年の健全育成に有効なものであると認識している。イベントやクラブ員の育成については、指導者会の協力を得ながら、指定管理者と市が協力して行い、今後更に海洋スポーツの普及と推進をしていく必要がある。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B

平成26年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	海洋スポーツ普及大会の参加や、クラブへの入会については、広報誌・HP等活用し募集を図る。海洋スポーツ教室、普及大会の指導等については、指導者会の協力を得ながら、指定管理者と市が協力して、今後さらに海洋スポーツの普及に努める。					

Action